

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	5020	(H.25)No.	5020
-----------	------	-----------	------

事務事業名	観光施設管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	松本 孝寿	

会計区分	事業コード	364001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光施設管理費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	観光施設管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	1	魅力ある観光地づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
観光施設が清潔、安全、快適な状態が保たれるようにきめ細やかな維持管理を行うことで、魅力ある観光地づくりを進め、観光地への入込客数増加を目指す。
事業内容
青蓮寺湖周辺等、市内にある観光施設(公園、トイレ、ハイキングコース)の維持管理を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	需用費(光熱水費、公園等観光施設修繕5件)、役務費(浄化槽法定点検4件、汚泥引抜3件)、委託料(青蓮寺湖周辺公園、長瀬公園、紅葉谷公衆便所、名張駅西口公衆便所等管理業務委託、ハイキングコース草刈業務委託、公共施設汚水処理委託等)	需用費(光熱水費、公園等観光施設修繕約5件)、役務費(浄化槽法定点検4件、汚泥引抜4件)、委託料(青蓮寺湖周辺公園、長瀬公園、紅葉谷公衆便所、名張駅西口公衆便所等管理業務委託、ハイキングコース草刈業務委託、公共施設汚水処理委託等)

H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
需用費(光熱水費、観光施設修繕)、役務費(浄化槽法定点検、汚泥引抜)、委託料(観光施設等管理業務委託)	需用費(光熱水費、観光施設修繕)、役務費(浄化槽法定点検、汚泥引抜)、委託料(観光施設等管理業務委託)	需用費(光熱水費、観光施設修繕)、役務費(浄化槽法定点検、汚泥引抜)、委託料(観光施設等管理業務委託)

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	7,450千円	8,814千円	8,814千円	8,814千円	8,814千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 7,450	8,814	8,814	8,814	8,814
人工数					
職員	0.22人	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,672千円	1,748千円	1,748千円	1,748千円	1,748千円
①+②総事業費	(0千円) 9,122千円	10,562千円	10,562千円	10,562千円	10,562千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
地域の活動団体に委託することで、安価できめ細やかな管理ができた。公園等の管理について、複数の部署で類似する委託契約を行っており、事務が非効率になっているという課題がある。	公園等の管理について、観光施設としてとらえるか否かにより、複数の部署で管理することは非効率であるため、一つの部署に統合する方向で進めていく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	赤目四十八滝、青蓮寺湖、香落溪を観光拠点として位置付け、自然環境を保全するとともに、これに調和する散策路やトイレ等の施設整備を進め、魅力ある観光地づくりに向けて取り組んだ。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	管理業務委託については、地域の活動団体と連携・協働して進めている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市産業振興ビジョン
観光施設の維持管理については、引き続き地域の活動団体と連携・協働して進めていく。公園等の管理について、事務の効率化のため、一つの部署で管理する方向で進めていく。	